

大田代小学校



江刺東中学校



江刺南中学校



学びやは思い出と共に

寒さも緩み、一歩一歩春の訪れが近づく3月。市の学校再編計画により、大田代小学校、江刺南中学校、江刺東中学校が、長い歴史に幕を下ろします。この3校は、地域に根差し、特色ある教育で多くの卒業生を育んできました。閉校する学校の歴史などを振り返り、関係者の思いを紹介します。

2期に分けて小中学校を再編します

全国的な少子化の進行に伴い、奥州市でも小中学校の児童生徒数が減少しています。小学校での複式学級の解消や、中学校での専科教員の配置などを目指し、保護者や地域の皆様のご意見を伺いながら、適正な規模に学校を再編することにしました。学校再編は、3年度から5年度の「前期」と、6年度以降の「後期」に分けて行います。前期では、36校を24校に再編します。

区分	地域	前期（3年度～5年度）
小学校	水沢	●黒石小・姉体小を統合する（5年度末）
	江刺	●人首小・木細工小・梁川小・広瀬小・玉里小を統合する（4年度末）
		●藤里小・伊手小・岩谷堂小を統合する（4年度末） ●大田代小・田原小を統合する（3年度末）
	胆沢	●胆沢愛宕小・若柳小を統合する（5年度末）
中学校	江刺	●江刺南中・江刺東中・江刺一中を統合する（3年度末）